



フォレスターうじ 会報

第290号
令和5年4月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

三月定例活動

二十五周年記念事業・トータムポールの建柱
緑の募金による十三本の苗木植樹

活動日 三月十九日(日) 晴
活動時間 九時三十分～十五時三十分
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十六名 一日体験一名

いつもの朝礼の後、トータムポールの仕上げ組とそれを建柱する穴掘り組と桜などの苗木の植樹組に分けそれぞれリーダーを指名し、作業開始。棚卸しは五月に延期することにした。今回は汗をかくほどの重労働、本当によく働いた。みんなの作業ぶりをドキュメンタリー動画でお見せしたいほどだ。いつものお昼時間も忘れるほどだった。

十四時過ぎ、全員でトータムポールの建柱を行った。あつちだこつちだ、と喧々諤々と言いながら、それでも楽しく建柱を完了。記念撮影(左の写真)も行った。なお、数本の苗木を植樹できなかったため、また対策を考えることとした。

終礼時、深田会長が退会する栗津監査役、久保井会員に労いの言葉を、お二人からはお礼の言葉。達成感のある素晴らしい一日だった。

(記 木曾 宗統)



三月特別活動

どんぐりプロジェクトの苗木植樹と
緑の募金による桜の苗木植樹

活動日 三月五日(日) 晴
活動時間 九時三十分～十五時三十分
活動場所 太陽が丘
参加者 会員八名 一日体験一名
植樹参加五家族十九名 太陽が丘三名

暖かな日差しのもと、太陽が丘での特別活動を実施した。太陽が丘「緑化のつどい」共催ということで、太陽が丘の協力も得て賑やかな開催となる。

午前中は、遊びの森の池背面の階段状の斜面に各自持参のどんぐり苗木を植える。家族連れの人達は、慣れないツルハシ、スコップで一生涯懸命に穴を掘り、鉢から苗木を丁寧に外して埋め込んでいく。自宅で何年か育てたという愛着がその作業の丁寧さに現れていて、「おおきくなーれ」と書かれた竹札がなんとも可愛い。人工造成の斜面で土壌が痩せているので周辺から腐葉土を掘り起こし根元に埋め込む。家庭で育った苗木は立派に育っているもので、新しい地ですっかり根付いてほしい。また、アベマキなど百本程度を周辺の斜面に植える。

午後は大人ばかり十数人となったが、午前の作業の続きのほか「緑の募金」からいただいたヤマザクラ二本、シダレザクラ一本を球技場通路横に植え込む。桜並木のなか枯れて歯抜けになっている場所に1mほどの苗木を植え支柱も立てる。朝から密度の濃い作業をこなし日差しが傾く夕方、一同心地よく疲れも現れてきてようやく作業を終える。本当にお疲れさまでした。

(山口 香屋子)

臨時活動

宇治市から緑の募金による苗木七本を受領
サクラの陽当たりを遮る支障木を除伐

活動日 三月六日(月) 晴
活動時間 十時～十四時三十分
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員五名

深田会長他四名で、宇治市森林組合岡主任より緑の募金による苗木七本を受領した。これに先立って購入した防鹿柵資材を岡主任に確認してもらい、費用負担をお願いした。その後、林道奥の桜並木付近に移動し、大作戦の森に仮植えしているサクラ五本分の植樹場所を確認し穴掘りを行った。

早めに昼食をとり、午後からは山口会員も加わり、冒険の道入口近くの林道南側で、サクラの陽当たりを遮るコナラ三本とソヨゴをチェーンソーで除伐。昨年購入のチルホールが役立ち、安全に伐倒できた。ここはなだらかな南向き斜面で、適切に除伐すれば絶好の植樹場所になる。また、東側も除伐できれば天ヶ瀬ダムを眺めることができるので、将来は公園の名所になることも期待できる。晴天で暖かな陽よりの中、夢がふくらんだ。

外部行事

京都府山城広域振興局主催
森林ボランティア交流会に参加

三月十日(金)午後から、本会七名を含む六団体十四名と京都府三名が参加し、天ヶ瀬森林公園においてドローンの研修を中心に森林ボランティア交流会が開催された。間近に見るドローンの性能にびっくりしたが、我々の活動にどう利用するかは課題が多かった。

(記 木曾 宗統)

臨時活動

アルプラ・マルシエスプリングに参加

「フォレストアージュと一緒に樹木で遊ぼう」

活動日 三月二十五日（土）曇

活動時間 十時～十六時

活動場所 アルプラ宇治東特設会場

参加者 会員十名

来場者 木工三十一名 丸太切二十二名 薪割五名

今回参加したきっかけは、昨年十月の宇治橋通り笑顔がわんさかフェスタで当会の「樹木で遊ぼう」をテーマとした特別活動を見られた、(株)平和堂・アルプラ宇治東店の担当者様から参加の打診があり、当会の活動趣旨をアピールできるとともに市民の方々にも楽しんでいただけるイベントでもあることから役員会に諮り参加を決定した。(株)平和堂は京都モデルフォレスト協会の会員で、和束町の湯船森林公園で森林づくり活動を実施されている。

十時前に全員が集合、トンボ作りの木工体験、ヒノキの丸太切り体験、および今回初めて実施するコナラの薪割り体験のコーナーを手際よく設営し、十一時のオープンを待った。

あいにくの曇り空ではあったが、十一時に京都翔英高校吹奏楽部のオープニング演奏でイベントがスタート。その後から当会のブースにトンボ作りや丸太切りにチャレンジする子供達が来てくれた。特にトンボ作りは一四時半の終了時まで途切れることがない状況だった。

今回の来場者は右のとおり。なお、並行して行った緑の募金活動については、二、五二〇円の募金額を得ることができた。

本年度最後の活動に参加していただいた会員の皆様お疲れ様でした。ここに感謝の意を表します。

(記 深田 和夫)

所感

八十歳になりました

後援会に移籍します

栗津 國雄

ここ一、二年体力の衰えを感じるようになりました。山道を活動場所に向かう時、今までなら先頭を歩いていましたが、最近の後方を付いて行く始末。作業時も初心者に見せるものの、本作業には口だけで参加。おまけにやり過ぎると腰痛が出てくるし、八十歳です。

私が本会に入会したのは平成十一年、発足三年目の三期生です。初年度、二年度と応募したものの落選。当時はすごい人気でした。入会時はまだ会社に勤めていたので、休日に山に入って新鮮な空気を吸い、山道を歩き、樹木の伐採に汗を流すという、日常と違う活動に心身共癒されたものです。

入会二年目に副会長、三年目に会長を拝命しました。この年から宇治市は会の運営から撤退し、本会は自立しました。その時は、具体的には規約の改正、事務局の設置、組織体制の充実等を図っていききました。

それ以降多くの方々の協力を頂きながら今日まで来ています。なかでも事務局長に木曾氏を選任したのは大殊勲だと思っています。会長は替わっても木曾事務局長はその任を全うして下さっています。感謝あるのみです。

この二十三年間、色々な事を手懸けました。研修旅行、外部行事への参加、記念誌の発行、白川の山での活動等々。そして、私自身、森林から仲間から元気を貰ってきました。

後援会員になっても定例活動や特別活動に時々参加させて頂くつもりです。会報の配布も今までどおりお手伝いします。

永い間お世話になり、ありがとうございました。

臨時活動

緑の募金による桜・ムクノキ等植樹

定例活動で全部植樹できなかったのが、三月二十四日(金)昼から、深田会長を含め四名で緑の募金による桜二本を大屋根休憩所付近に植樹した。しかし時間の関係上、ムクノキ等は京都大作戦の森に仮植えした。時機を見て本植えをする予定である。

(記 木曾 宗統)

今後の活動・行事の案内

令和五年五月以降の予定です。ぜひ、ご参加ください。

五月定例活動

五月二十一日(日)天ヶ瀬森林公園

・二十五周年記念樹十選の樹名板取り付け

・天ヶ瀬森林公園実態調査

フォレストアージュからのお報せ

森林ボランティア フォレストアージュは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

三月二十四日、森林公園自由広場の桜が満開。あいにくの曇空だったが、でも心が惑わされるほどきれいだった。

(会報担当 木曾 宗統)

(写真担当 田中 一夫)

